

令和6年3月甲良町議会定例会

一般質問

順番	質問者	質問事項	答弁者
1	7 番 野瀬 欣廣	<p>1、防災 正月早々に能登半島地震の大きなニュースが飛び込んできた。本町もいつ災害が来るかもしれない。そこで災害を最小限に抑え込むために確認と質問をする。</p> <p>① 町内で耐震基準を満たしていない公共物はあるか。また、一般住宅はどのくらいあるか。</p> <p>② 耐震基準をみたしていない住宅の耐震診断および耐震工事の進み具合は。</p> <p>③ 平成30年に、地震によるブロック塀倒壊で女子児童が亡くなっているが、町内の危険個所の把握と改善指導はできているか。</p> <p>④ 災害が起これば混乱が生じるが、これを防ぐためにも、各字それぞれで防災計画の策定およびそれに則った訓練が必要と思われる。現状どのようになっているか。</p> <p>⑤ 個人情報保護法が制定されてから、区内でも安否確認をするのが難しくなっているが、本町が推奨する確認方法はあるか。</p> <p>2、交通安全 本町が交通事故の無い住みよい町になるように願って質問する。</p> <p>(1) 道路交通法が変更され電動キックボードの問題がニュースに取り上げられるようになってきた。</p> <p>① 都会では道路交通法を無視した利用も見受けられるようだが、彦根警察署管内でのキックボード利用の現状はどのようになっているか。</p> <p>② 違反者数はどのようになっているか。</p> <p>③ 中学での指導はどのようになっているか。</p> <p>(2) 昨年からは自転車乗車時にはヘルメットの着用が努力義務となった。</p> <p>① 最近の中学校の着用率は。</p> <p>② 着用率向上の施策は。</p> <p>③ 少なくとも交通安全運動の期間中は強く指導をして、着用率向上に努力してもらいたいだろうか。</p>	<p>建設水道課長</p> <p>建設水道課長</p> <p>建設水道課長</p> <p>総務課長</p> <p>総務課長</p> <p>総務課長</p> <p>総務課長</p> <p>総務課長</p> <p>総務課長</p> <p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長 学校教育課長 教育長</p>

		<p>(3) 2年前に町内において交通死亡事故が発生している。</p> <p>① 事故防止策を一般質問で確認したが、彦根署と相談しながら対応する、との回答を得た。どのような対応をしたのか。</p> <p>② この事故はコリジョンコース現象が強いかかわっていると思う。この現象を十分に理解している人が少ないように思われる。本町には見通しが良い信号のない交差点が多く、町民に理解してもらう必要があると思うがどうか。</p> <p>3、財政強化 本町の財政は脆弱であり、自己税収だけでは不足が生じる。</p> <p>① 国および県に特別会計を、町長だけでなく課長クラスも出向いて強く要請を。</p> <p>② ふるさと納税の返礼品を充実させて収納の増加を。</p> <p>③ 現在、南部工業団地計画はどのようになっているのか。</p> <p>④ 町内の若年層の流出防止策の一つには、尼子駅前の住宅地推進にあると思うが、具体的に説明を。またそれ以外の対策は。</p>	<p>建設水道課長</p> <p>総務課長</p> <p>総務課長</p> <p>企画監理課長 企画監理課長</p> <p>企画監理課長</p>
2	3 番 藤居 吉也	<p>1、農業経営継続緊急支援金について 令和5年度に実施された、農業経営継続緊急支援金は2,000円(10a当たり)が町から支給された。令和6年度以降も継続して支援をおねがいしたいと思うが、どう考えているのか。</p> <p>現在の農業経営は大変厳しく、水稻の買取価格は低迷を続けており、ロシアのウクライナ侵攻等により諸物価の高騰、また主食である米の消費量の減等、取り巻く環境はとても厳しい状態である。甲良町総合計画の基本目標1で農業・農村を活かす産業振興・雇用創造とあるが、今一度深慮の必要があるのではないか。</p>	<p>産業課長</p>

順番	質問者	質問事項	答弁者
3	5 番 小森 正彦	<p>1、「住みよい町・住みたくなる町」を目指して、基幹産業支援をはじめ、本町がどのように取り組んでいくか問う</p> <p>① 基幹産業としてとらえている農業に対してその発展、育成にどのような行政支援を実行してきたのか。</p> <p>② 同じく建設業も基幹産業であるが、その入札制度について、以前も質問をしたが、改善点などはあるか。</p> <p>③ 公用車の購入、管理について、商工会には輪業部もあるが、その活用などはどのようになっているか。</p> <p>④ 町営住宅の入居について、希望者の要望に応えられない事態があると聞いている。その対策について問う。</p> <p>⑤ 町所有の残地の処分の現状と、課題について問う。</p> <p>⑥ 災害時の呉竹センターの管理状況について問う。</p>	<p>産業課長</p> <p>企画監理課長</p> <p>総務課長</p> <p>建設水道課長</p> <p>総務課参事 呉竹センター館長</p>
4	6 番 西川 誠一	<p>1、観光事業について</p> <p>昼間人口が多くなれば町の活性化につながる。</p> <p>① ここ3年間の観光客数の状況はどうか。 (せせらぎの里こうら・西明寺・三大偉人・その他)</p> <p>② 地元生産者の強い要望であるせせらぎの里こうらの野菜、花卉売り場面積拡大の見通しは。</p> <p>③ 後継者育成・特産品開発の進捗状況はどうか。</p> <p>④ 犬上川を含めた町内全体にきれいな散策路づくりを進め、観光客誘致を検討出来ないか。</p> <p>2、防災について</p> <p>(1) 道の駅が広域的防災拠点に指定されているが、設計図はあるか。本町の立ち位置や進捗状況は。</p> <p>(2) 防災放送設備について</p> <p>① 管理会社はどこか。</p> <p>② 各家庭の受信機の耐用年数は何年か。</p> <p>③ 本部より字指定で放送は出来るのか。</p>	<p>産業課長</p> <p>産業課長</p> <p>産業課長</p> <p>産業課長</p> <p>産業課長</p> <p>産業課長</p> <p>総務課長</p> <p>総務課長</p> <p>総務課長</p>

		<p>(3) 横関の古川で火災が深夜に発生した件について</p> <p>① 通報から広域消防、甲良町消防団、自警団の消防車到着までを時系列で報告を求める。</p> <p>② 改善点は何かあるか。</p> <p>(4) 能登地方地震で甲良町は震度4であったが、庁舎前のブロック建屋はどうであったか</p> <p>(5) 防災センター見直しはどうなっているのか。</p> <p>3、国道8号線バイパスについて</p> <p>① 本町を分断するが町は認めているのか。認めているなら各種要望事項を出していると思うので提出を求める。</p> <p>② 町の将来を考えるならリスクの少ない施工工法に変更するよう早くから求めるべきと考える。</p>	<p>総務課長</p> <p>総務課長</p> <p>総務課長</p> <p>町長</p> <p>建設水道課長</p> <p>建設水道課長</p>
5	4 番 山田 光義	<p>1、本町の人権施策の推進について</p> <p>① 1994年(平成6年12月)に甲良町人権擁護条例が制定されて、30年以上が経過しているが形骸化していないか。甲良町人権施策推進基本計画が策定され、概要版が町民の皆さんに周知するために配布されたが、人権意識の確立のために2022年、2023年に行政が取り組んだ具体的な取り組みは。</p> <p>② 人権施策推進のリーダーシップを目指す行政職員の人権意識の確立と同上のための職員研修などは行っているのか。特に国民の責務を明らかにした2016年(平成28年)に人権三法「部落差別解消推進法」「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」が策定され、社会的責任が強く求められる職員は学習したことがあるのか。</p> <p>③ 社会の変化により、人々の考え方も多様化する社会でさまざまな不合理な差別が今もなお存在している。インターネットによる人権侵害や虐待、いじめ、ヘイトクライムなど問題が生じた時の相談窓口はどのようになっているのか。</p>	<p>住民人権課長</p> <p>総務課長</p> <p>住民人権課長</p>

		<p>2、地域総合センターのありかたについて</p> <p>① この施設（呉竹・長寺センター）は、人権啓発および、住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、開放的な交流を通して住民自治の向上を目指すセンター事業がされている。</p> <p>それで、昨年度（2022年度）と、今年度（2023年度）のセンターでの取り組みの説明と、どんな団体が利用したのか、来館者の延べ人数は。また、来館者（交流）を増やすなにか具体的な方策はあるのか。</p> <p>② 地元の呉竹区（自治会）とセンターとの関係は上手くいっているのか。地元の区民の声はもっと気軽に利用できるようにしてほしいとの声がある。</p> <p>地域総合センターは役場の出先としてだが、公民館としての位置づけを求めている。例えば緊急事態の時に区の役員が、いの一に集まり、対応ができる態勢とするには、公民館的な利用方法を求めているが、どのように考えているのか。</p> <p>3、改良住宅・公営住宅の現状と今後について</p> <p>① 1969年（昭和44年）に同和対策事業特別措置法が制定され、さらに1987年（昭和62年）地域改善対策特定事業特別措置法が制定され、1989年（平成元年）に改良住宅建設が進み、呉竹が82戸、長寺が32戸、計114戸が建てられた。それと公営住宅、呉竹42戸、長寺16戸、計58戸が建てられたが、あれから35年以上が経ち、今の状態を詳しく説明を。</p> <p>② 改良住宅の平成27年4月に開始された譲渡（払い下げ）件数と空き家の現状、公営住宅の現状、特に呉竹の公営住宅解体の跡地の利用方法と、改良・公営住宅の展望は。</p>	<p>呉竹センター館長 長寺センター館長</p> <p>呉竹センター館長</p> <p>建設水道課長</p> <p>建設水道課長 総務課参事</p>
--	--	--	--

順番	質問者	質問事項	答弁者
6	2 番 木村 誠治	<p>任期4年間をかけて取り組んでいきたい私の所信表明は3つである。</p> <p>① 「財政危機宣言」下の行政自らが行う改善努力取組の監視 町議会、町政のありのままの情報を町民、区民の皆様と共有する。</p> <p>② 甲良町の自然資産：田畑山林の保全、永続的な活用水と光と少しの手入れで毎年豊かな農産物に恵まれる。</p> <p>③ 甲良町の貴重な人材資産である子供の町を挙げての郷土愛の育成 安心／安全な地元農産物の学校給食への採用、郷土史学習など</p> <p>以上、特に「財政危機宣言」下であることを踏まえて質問する。</p> <p>町長の所信表明について問う</p> <p>1、「災害に強い町づくり」について</p> <p>① 自助努力、自己防衛の啓発活動は行われているか。例えば、米、味噌、水の各戸備蓄、特にペットボトル備蓄、ふる水を翌日まで流さないなどの啓発活動である。</p> <p>② 1月1日発災の能登半島地震で顕著となった主要幹線道路整備の重要性に関して町の考えは。</p> <p>2、「人口減少、少子高齢化対策」について</p> <p>① ハードとソフトの両面での人口減少対策が必須であると考え。「入〈いり〉を量〈はか〉り出ずるを制す」の考えである。町長の見解は、ハード面として「住宅用地を確保…分譲する」とのことだが、ソフト面として人口増を“量る”観点から若年層の流入見込みの把握、新生児誕生への施策などは考えているのか。</p> <p>また、人口減を“制す”観点から若年層の流出抑制対策、今いる子供たちへの郷土愛の醸成教育が必要と考えるがどうか。</p>	<p>総務課長</p> <p>建設水道課長</p> <p>町長 保健福祉課長 教育次長 社会教育課参事</p>

		<p>② 健康寿命、健康増進についての啓発活動は行われているか。健康保険料、介護保険料、後期高齢者医療事業費の増大、財政状況等は先日2/14の議員研修で知った。長期的目線で自分貯“筋”、自己投資すなわち自分への健康投資を推進／支援される考えはあるか。全町民による貯“筋”量と長寿命化による“時間”との複利効果は大きいと考える。</p> <p>③ 今いる子供たちへの教育啓発活動の内容は。既に給食無償化が始まっているが、そのメリット／デメリットについての認識と町にとってのメリット、例えば“町内への定着”といった効果を高めるべく児童・学生への教育啓発活動はしているか。</p> <p>3、「農業・建設業の持続発展の方策」について 田畑山林は、水と光と少しの手入れで毎年豊かな農産物と健康をもたらす重要な町の資源／資産であるという観点から、</p> <p>① 圃場整備田の保全活動は重要であると考えているが、従前／今後の保全計画は。</p> <p>② 未整備田の利活用施策も重要であると考えている。新世帯の人口流出抑制、宅地不足解消等に資する弾力的な規制緩和の考えはあるか。</p> <p>4、「DXの推進」について</p> <p>① 具体的な実施施策の内容と費用対効果、状況は。</p> <p>② 未収者への時効を踏まえたトレース／回収についての取組状況は。人的工数削減があれば“働き方改革”にも資すると思う。</p> <p>5、「産業誘致」について 町への納税、税収増という観点から、</p> <p>① 事業者と町民との町税比率は。比率にもよるが、町民の所得・資産形成促進に係る支援策はあるか。</p> <p>② 現存事業者への経営改善支援策や創業／起業家への補助・支援策はあるか。</p>	<p>保健福祉課長</p> <p>教育次長</p> <p>産業課長</p> <p>産業課長</p> <p>企画監理課長 総務課参事</p> <p>税務課長</p> <p>産業課長</p>
--	--	--	---

順番	質問者	質問事項	答弁者
7	9 番 西澤 伸明	<p>1、寺本町長の所信表明および基本姿勢を問う</p> <p>1. 所信表明について</p> <p>(1) 「災害に強いまちづくり」について</p> <p>① 我が町で想定される大規模災害の種類と規模の程度は。</p> <p>② 「防災センター」という施設計画よりも急ぐべきは、避難所に整備する段ボールベッドなどの器具・備蓄品の充実、自主防災組織の確立と有効な運用・連携ではないか。</p> <p>③ マンパワーの重視・構築と地域コミュニティの育成こそイザの時に力を発揮すると考えるが。</p> <p>④ 大災害時に、たちまちの暮らしに困難をもたらす「断水」への対応、学校・認定保育園等の運営に関わる対策について方針化と身につく一定の訓練が必要と考えるがどうか。</p> <p>⑤ 「私たちはどう備える？今から準備できること」の発信が重要では。</p> <p>(2) 「人口減少、少子高齢化対策」および、その内の「尼子駅周辺に100戸程度の住宅用地確保」について</p> <p>① 先ず大切なのは、「減少」の科学的な分析・検証が一番で、次に、その原因に対する適切な対応策を多くの町民の声を集めて練り上げることが重要と考えるがどうか。</p> <p>② 新聞報道によれば「町が造成から分譲まで担う」としているが、具体的計画を町民に提示すべきでは。「住宅用地の確保」「造成から分譲まで町が担う」としている構想は「人口減少対策」として町行政が取り組むには飛躍がありすぎると考える。岡山県奈義町の取り組みから学ぶべきでは。</p> <p>③ なぜ「尼子駅周辺」か。</p> <p>(3) 産業誘致について</p> <p>① 大林組から寄贈された山間地は、立地条件その他の条件についても大変難しい状況。今年7月で9年が経過するというのに応募企業なしの状態が続いている。いったん立ち止まって、必要性・方向性を十分に検討しなければならないのでは。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>建設水道課参事 学校教育課長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>建設水道課長</p> <p>町長</p>

		<p>(4) 「DX：デジタル トランス フォーメーションの推進」について</p> <p>① この中には、政府が今秋から始めようとしている紙の保険証を廃止し、マイナンバーカードにひも付けする制度への賛意も含まれているのか。</p> <p>② 町長は「町民が使えて便利だと実感できる事業導入の取り組みにつなげていきたい」と表明されましたが、元々カードを持たない方、作成したが一切使用していない方、不安・危険だとして返納される方がおられる状況だと思う。そのような実情も踏まえ、町としては節度をもって批判的に対応されることを望むが。</p> <p>2、町内で発生した火災の教訓について</p> <p>① 初期消火の課題は。</p> <p>② 日常的な防火施設の点検・維持・管理のあり方は。</p> <p>③ 系統的な訓練の必要性を痛感するが。</p> <p>3、寄せられたアンケートより</p> <p>(1) 保育基準の運用見直しについて</p> <p>① 「保育に欠ける子ども」についての見直し・改善が進んでいると聞くが、本町の具体的な対応は。</p> <p>② 「第2子を出産した後の第1子の保育の受け入れ期間8週間で第1子を退所させられる。せめて母体回復まで延長してほしい」との要望が寄せられているが、延長すべきであり、運用が可能ではないか。</p> <p>(2) 町外に通学する児童にも「給食費無償」の適用を寄せられたアンケートの中に「給食費が無償化になったとあるが、家の都合で町外に通学している児童は対象外だと教育委員会から言われた。同じ町内に住む子供なのに不公平だと思うのでぜひ改善してほしい。」との声があったが、これは事実か。</p> <p>いじめなど様々な要因で甲良町民の小中学生が町外の学校に通学する現実だと考える。我が町に在籍するお子さんであり、道理ある要望だと考える。還付など他の手段で適用してできるのではないか。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>総務課長 総務課長 総務課長</p> <p>教育次長 教育長</p> <p>教育次長 教育長</p> <p>教育長</p>
--	--	---	--